

## 他自治体若者支援機関 視察報告

## 1. 視察日

令和元年 6 月 18 日（火）

## 2. 視察先と施設の概要

## (1) 豊島区子ども若者総合相談「アシスとしま」（豊島区役所本庁舎 4 階）

## ア 困難を抱える若者の支援のポイント

- ・一度相談に乗ったからといってすぐに解決できるケースはほぼなく、ある程度長い時間をかけて対話を重ね、抱えている問題 1 つずつ解きほぐしていく必要がある
- ・他機関の支援が必要となった場合には、つなぐだけでなく同行支援も行っている
- ・複数機関による支援を行う「ケース会議」を個別に随時行っている
- ・アンケートでは、「もっと若いうちに相談して支援を受ければよかった」との声が多く、早期発見、早期対応が何より重要であると考えている

## イ 関係支援機関との関係づくり

- ・支援ワーカーが子ども食堂、無料学習支援、各機関を訪問し、各支援機関との関係を構築しているが、他機関を紹介する際には顔の見える関係づくりが何より重要である
- ・無料学習塾や子ども食堂に顔を出した際には、来所した子どもの家族に問題を抱えているケースを支援につなげている

## ウ 他機関に紹介する際の個人情報の扱い

- ・口頭または書面での本人同意があったとしても、本人や家族と職員との間で「言った言わない」などのトラブルとなる可能性があるため、同行支援が望ましい

## エ 「アシスとしま」の設置効果

- ・設置以前は、明確な行政サービスの対象者（生活保護受給者、障害者手帳取得者など）以外の 18 歳以上の若者への支援が、どうしても途切れがちであった
- ・設置後は、生きづらさを感じている若者（中途退学者、若年無業者など、いわゆる「グレーゾーン」の若者）に対して支援が行えるようになった

(2) 世田谷区若者総合支援センター「メルクマールせたがや」  
(世田谷ものづくり学校内)

居場所

OPEN (自由)

野毛青少年交流センター

池之上交流センター

希望ヶ丘青少年交流センター (月 2 万人利用)

- ・若者・大人・活動団体などをメンバーとする「運営準備委員会」で、センターの企画、利用方法などを具体的に考えている。→若者のまちづくり参加

児童館 (25 館)

- ・中高年支援館 (内 5 館を指定)  
中高生だけの時間として週 2 日  
開館時間を 1 時間延長

区内大学と連携した居場所

- ・あいりす(昭和女子大学)→女性限定の居場所
- ・たからばこ(日本大学文理学部)

CLOSE (予約制、会員制)

メルクマールせたがや

- ・総合相談窓口 (メルクマールせたがや+サポステ)
- ・サポステと併設
- ・専門性を有する職員による伴走支援
- ・居場所の利用を会員制にすることで、過去のトラウマなどにも配慮した支援
- ・中学校、高校連携

